## 執筆者紹介 (掲載順

藤 原 享和(同志社高等学校教諭

原 田 敦 子(大阪成蹊女子短期大学教授)

佐 尾 希 (二〇〇二年本学学部卒業生)

滝 沢 優 子 (本学大学院博士課程後期課程在

瀬 高 崎 野 昌 彦 (本学大学院博士課程後期課程在 圭二(一九九七年本学学部卒業生) 学生)

元 木 直 子 (本学大学院博士課程後期課程在

学生)

柳 Ш 朋 美 (本学大学院博士課程前期課程在 学生)

宮 崎 あ や (本学大学院博士課程後期課程在 学生)

翻

刻

0

会(本学学部在学生と本学教授山田

藤 井 涼 子 (一九八六年本学大学院修士課程 修了生

## 集 後 記

編

の論文を収録することができたことも、国文学会の会員の層のあつ 論文九編、翻刻二編を掲載することができました。幅広いジャンル 今回は、卒業生、大学院生から意欲的な論文が数多く寄せられ、

近年、大学を取り巻く状況も大きく変わっていこうとしています。

さを示しており、これも歓迎すべきことと思います。 流動的な世相の中であればこそ、地道な研究・教育活動を展開して

なお、次号は、向井芳樹教授の退職記念特集号となります。

いくことが必要でしょう。